

久保田たかし 活動最前線

発行：久保田たかし後援会・太田市民懇話会

厳しい環境でも安心して暮らせるまちへ

日頃より久保田たかしを支援してくださる皆様には、新たな年を清々しくお迎えしたこととお喜び申し上げます。しかし、今年は何となくすっきりしないお正月ではないでしょうか。

昨年より大流行している新型コロナウイルス感染症も収束の兆しが見えず、皆さんは新しい日常といわれるなかで不便な生活を送っているのではないかと思います。

市内の経済環境も非常に厳しい局面を迎えています。感染拡大防止のために外出する市民は激減し、飲食店をはじめ、商業者からは大きな悲鳴が聞こえてきます。政治が手助けできることを議論し、手を差し伸べていかなければなりません。

市民の皆さんには「感染しない、感染させない」を目標に、徹底した感染防止対策をお願いいたします。今年は何としても市民の笑顔を取り戻し、安心して生活できる環境をつくっていくよう頑張ります。

12月定例会

11月30日から12月15日の16日間で開催された12月定例会では、19人の議員が一般質問を行い、市政の状況や将来に対する方針などに関して議論されました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大による経済の低迷を受けて、太田市特別職（議員・市長・副市長・教育長）及び一般職員期末手当を減額することが決定されるなど、議会提出議案3件を含む31議案が可決しました。

◆請願3件を採択し、政府に対し意見書を提出しました

◎議会議案第3号「教職員定数改善と義務教育費国庫負担2分の1復元を求める意見書」

本請願は群馬県教職員組合から提出されたもので、過去に何度も採択され、国に対し意見書の提出を行っているものです。今後の少人数学級化や教職員の働き方改革を実現するためにも定数改善は必要だと考えます。また、義務教育費国庫負担制度においては、厳しい財政状況のなか、独自財源で運営することによる教育の自治体間格差の拡大が懸念されます。

義務教育が果たすべき役割である教育機会の均等化を担保するためには、義務教育費国庫負担を2分の1に復元することが必要であることから、本請願を採択することに決定しました。

◎請願第8号「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めることについて」

核兵器禁止条約への批准国が2020年10月24日に50カ国に達したことにより、20



12月定例会本会議

21年1月22日に条約が発効されることになりました。これは核兵器廃絶に向けて新たな段階に入ったといえるかもしれません。日本国内においても、署名・批准を求める自治体が年々増加しており、機運の高まりが感じられます。

日本が唯一の戦争被爆国として核兵器全面禁止のために条約に参加し、批准することを求めることは、核兵器の廃絶を願う本市の平和都市宣言の趣旨とも合致していることから、本請願を採択することに決定しました。

◎議会議案第5号「精神障がい者の交通運賃割引制度の適用に関する意見書」

精神障がい者の生活には移動を伴うことが多く、公共交通機関を使っての移動は障がい者の自立と社会参加に欠かせないことだといわれています。従って、精神障がい者にも身体障がい者や知的障がい者と同等の交通運賃等の割引制度が必要と考え、本請願を採択することに決定しました。

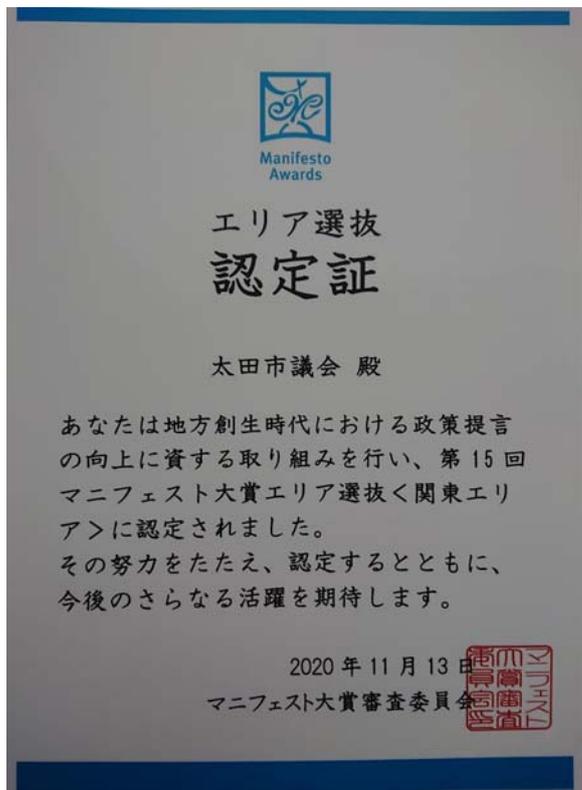
◆今年もマニフェスト大賞に
ノミネートされました

マニフェスト大賞は、早稲田大学マニフェスト研究所が共催するマニフェスト大賞実行委員会が地方自治体の議会・首長などの優れた活動を表彰するものです。

太田市議会は今年度、応募総数2842件の中から優秀賞候補の138件に選ばれました。

今年度は議会改革推進特別委員会を設置し、議会基本条例の見直しや会議ルールの変更などについての議論を進めています。

コロナ禍において、感染防止のためのリモート会議など、環境変化に対応した議会のあり方についても議論を深めていきます。



◆佐藤ひさよし大泉町議会議員2期目の挑戦へ！

久保田たかしとともに活動する大切な仲間の佐藤大泉町議が2期目の挑戦をすることになりました。

1期目の4年間は新人議員とは思えないほど提言を重ね、様々な制度導入を実現してきました。議会でもフレッシュな目線で様々な改革に挑戦しています。『あなたの声を町政に スクラム組んで未来を共創』をキャッチフレーズに走り続けるラグーマンを応援しています！（大泉町のお知り合いをご紹介ください）

年末年始に開催されていた会合の多くが中止となりました。開催する場合はパソコンを繋いで画面上で集まるリモート会議。議会でもオンライン会議の開催について議論が進められていますが、顔を合わせて相手の表情やその場の空気を感じながら議論する方が中身の濃い会議になるような気がします。でも「コロナのせいで」と恨んでばかりもいられません。この状況だからこそできることを実行していきたいと思います。「コロナがあったからこそなった」と言える未来にしたいものです。今年も皆様のご指導ご鞭撻をお願いいたします。ご意見・ご感想をお寄せください。相談ごともお遠慮なく下記までどうぞ。

久保田たかし後援会事務所

住 所：大泉町坂田1-1-1
TEL：0276-61-9926
FAX：0276-61-8993

協定締結。

太田市・大泉町・熊谷市・パナソニック(株)はラグビーフットボールを通じた地域振興等に関する協定を締結しました。

調印式は12月25日に太田市民会館で行われ、太田市長・大泉町長・熊谷市長とパナソニックの代表者がそれぞれ協定書に署名しました。

パナソニックワイルドナイツの本拠地が太田市から熊谷市に移転することが決まりましたが、この協定により北関東エリアを「ホストエリア」として、チームが活動する場合、各自自治体はワイルドナイツの広報応援活動を行い、スポーツの普及や振興、健康増進などをはかります。

また、ワイルドナイツのグッズなどをふるさと納税の返礼品として活用することも決まりました。

返礼品の目玉は、ワイルドナイツ選手のサイン入りレプリカジャージです。写真は日本代表の稲垣選手のものが入ったものです。